

2026年度 事業計画

～ 四国が一丸となり、明るい未来の実現に向けた大きな一歩を踏み出す ～

I. 現状認識

大国による軍事的・経済的威圧行為の拡大、国家の関与が疑われるサイバー攻撃の頻発化など、我が国を取り巻く安全保障環境は、ますます厳しさを増している。また、予想を上回るペースで少子化・人口減少が進行する中、特に、四国など地方においては、大都市圏への若者流出もあり、人手不足が一段と深刻化している。こうした中、昨年10月に誕生した高市内閣は、「日本列島を、強く豊かに。」をスローガンに、山積する内外の課題に対処するための政策を相次いで打ち出している。例えば、産業政策に関しては、今後、重点投資を行う17の戦略分野を選定するとともに、地域ごとの産業クラスターを、その実現に必要なインフラと一体的に整備する方針を示した。また、県域を超えた地方創生の取組みを支援する制度「広域リージョン連携」も始まる。

四経連としては、こうした国の新たな政策と連動しつつ、四国の持続的な成長・発展に向けた取組みを深化・加速させていく。特に、2026年度は、創立以来の行動理念である「四国はひとつ」を今一度前面に打ち出し、四国が一丸となって、明るい未来の実現に向けた大きな一歩を踏み出す年と位置付ける。

併せて、「『住んで良し、働いて良し、遊んで良し』の四国」を一つのキーワードに、四国ならではの強みや特性を活かすという視点を強く意識した、独自色豊かな「地方創生」に積極的に挑戦していく。

II. 活動の基本方針

2026年度は、以下の基本方針のもとで、「四国が目指す将来像」に織り込んだアクションテーマの具体化などに取り組む。

1. 四国が一体となった取組みの拡充

四国の自治体や大学、他の経済団体など、四国創生の思いを共有する幅広い主体との連携を強化するとともに、こうした連携の要となって四国が一体となった取組みを拡充させることにより、活動内容の深化・加速を図る。

2. 「シンク&ドゥタンク」機能のレベルアップ

四国が抱える様々な課題についての調査・分析・提言機能の強化を図るとともに、四経連自らがコアになった実践活動を積極的に展開する。

3. 様々な媒体を活用した広報活動の充実・強化

四経連活動への共感・連携の輪を広げることなどを目的に、会報、ホームページはもとより、マスコミや連携団体の媒体、SNS等を活用した、効果的な情報発信を推進する。

Ⅲ. 事業活動

2026年度は、引き続き「四国が目指す将来像」で取り上げたアクションテーマの実践を軸として、以下の取組みを進めていく。

1. 地域経済の成長力・持続力の強化〔産業振興委員会〕

(1) グリーン・トランスフォーメーション（GX）に向けた取組み

- ・四国の産学官の主に実務者クラスが参加する「脱炭素推進研究会」の活動を中心に、企業や地域の脱炭素化を促進させる。
- ・四国各地で脱炭素に取り組む官民組織や自治体などと積極的に連携し、脱炭素と地域創生の両立を目指す。

(2) ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン（DE&I）の推進

- ・地域ぐるみのDE&Iの推進に向け、四国の企業が今後の取組み方針等を宣言・開示したり、相互の交流等により個々の取組みをレベルアップするためのプラットフォーム（四国DE&I宣言企業リーグ）を設立するとともに、初年度としての活動を積極的に展開する。（人口減少対策委員会との共同事業）**新規**
- ・外国人留学生の採用拡大をはじめ、高度外国人材の活躍推進につながる取組みを検討・実施する。

(3) スタートアップ支援、イノベーション・産学連携の推進、起業人材の育成

- ・他の経済団体等と連携し、四国の有望スタートアップの成長や、四国の大学のシーズの事業化を支援するための新たな取組みを検討・実施する。**新規**
- ・産学官連携の進め方や成功事例等を紹介するセミナーの開催など、オープンイノベーション推進に向けた取組みを検討・実施する。
- ・起業人材育成に向け、四国の大学・高専生によるビジネスプランコンテスト「キャンパスベンチャーグランプリ（CVG）四国」を継続開催する。

(4) 四国産品の販路拡大支援、国際ビジネス交流の促進

- ・会員企業のネットワークやリソース等を活用した四国産品の販路拡大支援方策を検討・実施する。
- ・JETROや中小企業基盤整備機構との連携等により、国際ビジネス交流の促進に取り組む。

2. 広域的な観光振興の推進 [観光振興委員会]

(1) 「四国の観光ビジョン」の具現化に向けた活動の推進

- ・ (一社) 四国ツーリズム創造機構、四国アライアンス、四経連が共同で策定・公表した「四国の観光ビジョン」の実現に向け、以下の取組みを進める。
- ・ 「大阪・関西万博」との連携による四国の誘客施策の振り返りと他地域を含めた成功事例の調査、大阪 I R 開業に向けて四国が取るべき施策の調査を実施する。 **新規**
- ・ 観光人材の育成を目的に、香川大学で実施しているビジネススクール公開講座の四国内他大学への水平展開を図る。 **新規**
- ・ 西日本エリアとの連携を強化し、各地域の観光振興施策情報の収集、域内への還元、四国域内の施策との連携の後押しなどにより、広域周遊観光の振興をサポートする。

(2) 四国遍路文化の維持・継承に向けた機運醸成への取組み

- ・ 四国遍路文化の維持・継承に向け、行政、NPOなどの地域団体、経済界などの間をつなぎ、様々な主体が個別に行っている活動について、連携の輪を広げ、地域コミュニティ全体で取組みの活性化を図る。

具体的には、「NPO法人遍路とおもてなしのネットワーク」や「(一社) 四国八十八ヶ所霊場会」などと協働で策定した、遍路文化の維持・継承のための「ありたい姿」とその実現に向けた3つの取組み(①四国の遍路文化の再評価、②保存・継承の取組みの自然な広がり、③四国遍路の課題への連携した対応)を計画、実施する。

特に本年度は、将来の世界遺産登録による外国人来訪者の増加を見据え、今後の受入態勢の強化に資する、熊野古道など先行事例の調査を実施する。

新規

- ・ 四国遍路の機運醸成に向けた取組みのうち、四国4県で同時開催される大規模イベントである「一日一斉おもてなし遍路道ウォーク」を地域の誰もが知り親しむ四国遍路の象徴的イベントにすることを目指し、主催NPO等と連携し、さらなる認知度向上・参加者拡大に向けて取組みを強化する。
- ・ 四国遍路世界遺産登録推進協議会 普及啓発部会の一員として、一般の方の日常に馴染みやすい取組み等を企画・実施することで、「四国遍路の魅力」を若い世代も含めて、幅広く伝え、関心を持ってもらい、四国遍路の保存・継承に向けた機運を醸成する。

3. 地域経済の維持・発展に向けたデジタル技術の活用促進 [DX推進委員会]

昨年度に引き続き、「四国DX推進戦略」（四国におけるデジタル化・DXを推進していく上での活動指針）に基づき、各委員会とも連携しながら、以下の取組みを中長期的な視点で進めていく。また、AIやサイバーセキュリティなど時宜にあったテーマを選定し、活動を展開する。

(1) DX推進に向けた意識啓発・ビジネス実装支援

- ・経営層や経営幹部、次世代リーダーを中心に、DXの活用事例や先進デジタル技術等について学ぶ機会を提供。組織全体への変革風土の定着やDXビジョンの具現化等を支援する。
- ・マネジメント層や実務者クラスを中心に、先進的なデジタル技術に関する情報共有や、現場で役立つソリューション事例の紹介、実務体験などの機会を提供。デジタル技術の社会実装を支援する。
- ・DXに先進的に取り組む企業の「生の声」を共有する場を設け、企業のDX推進の底上げを図る。また、登壇者と参加者相互のリアルな交流の場を設けるなどして、ビジネス実装を支援する。
- ・国や県、他の経済団体などDX支援に取り組む地域のステークホルダーと連携を強化し、セミナー開催や補助金など有益な情報を相互に共有・展開。支援機能の充実を図る。**新規**

(2) リスキリングに資する機会の提供

- ・eラーニングの豊富なコンテンツを有する外部機関と連携して、多様な学びの場を提供し、リスキリングを支援する。また、地域の他の支援機関等と連携を強化し、外部のセミナー開催情報なども提供。支援機能の充実を図る。

(3) 地域の課題解決・活性化に向けたデジタル技術の活用検討

- ・DXの導入により地域の課題解決が期待される公共交通や一次産業、また、防災や観光などデジタル化の実装機運が高まっている分野での活用状況や先進事例等を調査し、情報発信する。

4. 人口減少問題への対応〔人口減少対策委員会〕

(1) ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン（DE&I）の推進

- ・四国における女性活躍を推進し、さらには多様な人たちが生きがいや働きがいを感じながら、豊かに生き活きと暮らせる四国にしていくため、他の経済団体と連携し、「四国女性活躍フォーラム」をステップアップさせたフォーラムを企画・開催する。
- ・会員企業の中で社業発展などに成果を上げている女性の活躍ぶりを取り上げ、四国産業界における女性活躍のロールモデルとしてWebで情報発信する。
- ・地域ぐるみのDE&Iの推進に向け、四国の企業が今後の取組み方針等を宣言・開示したり、相互の交流等により個々の取組みをレベルアップするためのプラットフォーム（四国DE&I宣言企業リーグ）を設立するとともに、初年度としての活動を積極的に展開する。（産業振興委員会との共同事業）

(2) 若者に選択される労働市場（Uターン就職等）への取組み

- ・四国外の若者の還流を促すため、四国4県と四経連で構成する「四国UIJターン就職促進協議会」として、四国外の学生等を対象とした合同企業説明会を開催する。
また、都市部の若者の地方に対する関心を高め、四国へのUIJターンを促進するため、実際にUIJターン就職した方のインタビュー記事をWebで情報発信する。
- ・四国の大学生の域外流出抑制施策として、大学生の就活動向や企業の採用事情などについて産学間の相互理解を深めるため、「四国の大学生の地元定着に向けた産学情報交換会」を開催する。
また、学生に地元企業の事業内容や技術開発動向、必要とする人材像などを伝えるため、香川大学創造工学部「地域企業ニーズ概論」に四経連事務局および会員企業から講師を派遣する。
さらに、こうした取組みを拡大し、徳島・鳴門教育・香川・愛媛・高知大学が共同で開講しているeラーニング科目「四国の経済・産業」に、会員企業のコンテンツを提供する。

(3) 「四国の30年後の姿を考える」に関する調査 新規

- ・約30年後の2060年に、四国の人口は、今から100万人以上減少する見通しであり、現在とは全く異なる状況が想定されることから、四国の人口等の推計を踏まえ、バックキャスト的に四国地域が如何に対応していくべきかについて、四国アライアンス地域経済研究会と共同で調査し、報告書を取り纏める。

(4) 四国内でのカップル成立に向けた「縁結びサービス」に関する調査・検討

- ・四国の人口減少・流出対策の一助とするため、域内での共働きを見据えたカップル成立に向けた「縁結びサービス」に関する調査・検討を進める。 新規

5. 交通インフラ整備、防災・減災対策

(1) 四国新幹線の実現に向けた取組みへの参画・協力

- ・四国新幹線の実現に向け、昨年、約45万2千筆の署名を集め、国土交通省に届けるなど、地元の機運醸成や政府への要望活動は大きく進展している。2026年度、国は基本計画路線を対象とした新たな調査（ケーススタディ）を実施する見込みであることから、この機会を捉え、整備計画への格上げと早期実現に向けた取組みを強化する。
 - ・四国新幹線の早期実現を望む四国の熱意を中央にアピールし、整備計画への早期格上げと新幹線建設予算の増額などを求める「第8回東京大会」および要望活動
 - ・基本計画路線の整備計画への早期格上げ等に取り組む全国各地の推進団体との協働による「全国総決起大会」および要望活動 **新規**
 - ・岡山県や大阪府等での四国新幹線に関する理解促進、機運醸成を目的とした、広告掲示およびイベント等への出展
 - ・「骨太の方針2026」への新幹線基本計画路線の早期整備の記載に向けた要望活動の実施 **新規**
 - ・北陸や九州など新幹線の誘致活動や沿線のまちづくりの成功事例の視察および調査分析 **新規**
 - ・岡山経由・4県都を結ぶルート上での勉強会、講演会の開催
 - ・四国新幹線の理解促進や早期実現に向けた機運醸成の輪を広げるためのSNSの積極的活用、イベントやシンポジウムでの着ぐるみを活用した広報啓発活動
 - ・四国新幹線に関する応援の輪を広げるため、四国新幹線に関する機運醸成活動を行う他団体との連携・支援 など

(2) 四国の高速道路整備の推進に向けた取組みへの参画・協力

- ・四国の4県知事と四経連会長で構成する「四国8の字ネットワーク整備・利用促進を考える会」を中心に、四国の高速道路のミッシングリンク解消、暫定2車線区間の4車線化推進等に向けた要望活動を展開する。

(3) 空港・港湾・地域交通網の維持

- ・観光や物流、防災の拠点となる空港・港湾の整備促進に向けた議論に参画し、経済界の立場から協力・支援する。

(4) 防災・減災対策

- ・他経済団体等とも連携し、四国地域・企業の防災・減災対策の強化に資する施策の充実・強化を国に働きかけていく。
- ・南海トラフ地震対策をはじめ防災・減災対策を進めるための議論に参画し、経済界の立場から協力・支援する。

6. 広報活動、調査活動、組織強化

(1) 広報活動

- ・四経連の会報やホームページについて、タイムリーな活動報告を行うとともに発信内容の充実に努める。
- ・四経連活動の認知度向上・理解促進に向け、四経連主催のイベント等について、マスコミや連携団体の媒体、SNS等を通じた積極的な情報発信に努める。

(2) 調査活動

- ・四経連景気動向調査（四半期ごと）を計画的に実施し、その結果を公表する。
- ・景気ウォッチャー調査（内閣府からの受託調査・毎月）を適切に実施する。
- ・次回（2027年度実施）の海外視察テーマや視察先等を検討する。

(3) 組織強化

- ・四経連の組織強化を図るため、新規入会の勧誘ならびに退会抑制に努める。

7. 行政や他の経済団体等との連携、会員交流行事の開催

- ・「地域未来戦略」や「広域リージョン連携」など、地方創生を目指す国の新たな政策の活用に向けた四国4県や他の経済団体等との連携 **新規**
- ・「西日本経済協議会」への参画および決議事項の要望
 - ・本年度は同協議会の幹事として、決議事項の取りまとめ、総会開催、要望活動を取り仕切る。
- ・「日本プロジェクト産業協議会（JAPIC）」との共催によるシンポジウムの開催
- ・「明日の地域づくりを考える四国会議」による提言・要望
- ・「豊予海峡ルート推進協議会」による提言・要望
- ・「四国の4県知事と経済団体代表者による懇談会」の開催
- ・「中四国サミット」への参画および提言・要望
- ・「瀬戸内海クルーズ推進会議」や「Setouchi Vélo 協議会」への参画
- ・他地域の経済連合会との意見交換の実施
- ・経団連との「四国地域経済懇談会」の開催
- ・四国新年交流会、四経連懇話会等の開催